

再整備構想の背景と目的

豊中市では、平成9年（1997年）に、行政と市民との役割分担や協働のあり方を明らかにした「豊中駅前のまちづくりについて（基本方針）」（以下「基本方針」）を策定しました。その後、約20年が経過し、豊中駅周辺地区では人口・世帯構成や交通量、建物更新・建物用途の変化、都市基盤の整備も進みました。当地区を取り巻く現状からまちづくりの課題を明らかにし、基本方針の実現に向け、豊中市としての取組方針、及び優先的に取り組むべき内容を取りまとめ、令和3年（2021年）9月に、豊中駅周辺再整備構想の策定を行いました。

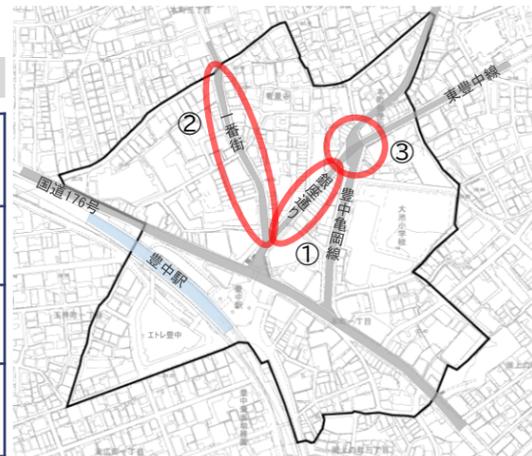
まちづくりの方針

まちづくりの基本的な考え方

- ◆「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成
- ◆新たなつながり・コミュニティの形成

まちづくりの取組方針

- 1 道路空間の再編による歩行者空間の充実と賑わいの創出
- 2 再開発や共同化による街区内の防災性能や快適性の向上
- 3 建築物等の誘導による歩行者空間やゆとり空間の充実
- 4 賑わい創出に向けたソフト施策の推進とまちづくり活動の支援



優先的な取組項目 対象箇所

優先的に取り組む施策

公共施設整備による「銀座通り・一番街」を中心とした歩行者空間の拡充と賑わいづくりに向けた道路空間の有効利用

優先的な取組項目

| | | |
|--------|---------------------------|---|
| 公共施設整備 | ①銀座通りの道路空間の再編整備と空間活用方策の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ●歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の実現を目指すため、道路空間の再配分や通過交通の流入抑制を図ることを検討 ●オープンカフェなど、賑わいづくりのための道路空間利用について、地域と協働して検討 |
| | ②一番街の道路空間の再編整備と空間活用方策の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ●車両の速度抑制などにより、歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の早期実現を目指す ●銀座通りと連携し、賑わいづくりのための道路空間利用について、地域と協働して検討 |
| | ③豊中亀岡線と東豊中線の交差点部分の改良 | <ul style="list-style-type: none"> ●歩行者や車両のより安全で円滑な通行を確保するため、関係機関・地域と協働して検討 |
| | ④まちづくりに向けた地域の取組支援 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域が主体となったまちづくりへの取組支援 ・まちづくりの活動主体に対する支援 ・賑わいの創出に向けたイベント展開等 他 |

【フェーズ1】の取り組み・検討まとめ

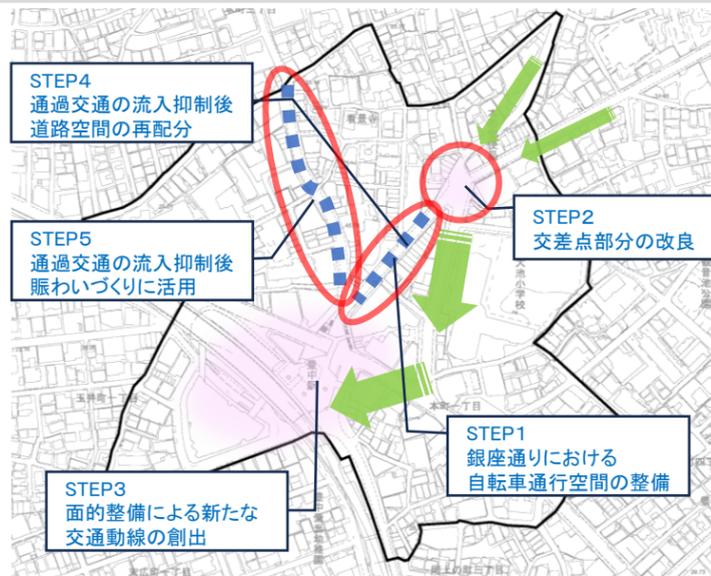
- 令和3年度の再整備構想策定以降、構想の実現に向け、ハード面では主に銀座通り・一番街の道路空間の活用方策を模索するため、地域の催しの際の通行止めに合わせて交通量調査や交通負荷軽減のための本町南交差点改良の検討を行いました。
- また、大阪府と連携し、豊中亀岡線と東豊中線の交差点改良の検討を行い、事業可能性や事業手法を整理しました。ソフト面においては、まちづくり活動の取り組みを進めるため、豊中駅前ふれあいフェスタを開催しました。
- それらの結果や社会環境の変化を踏まえ、事業推進に向けて豊中駅周辺まちづくりミーティングにおける意見交換等の実施により、フェーズ2の取り組みについてまとめました。

| 優先的な取組項目 | 検討内容 | まとめ |
|-------------------------|--|--|
| 【取組項目①②】銀座通り・一番街 | <ul style="list-style-type: none"> 現行の道路構成における幅員の再配分は困難（道路構造令の制限） 交通負荷の軽減を検討（交通量調査・本町南交差点改良の検討） 交通負荷の軽減は見込めず（本町南交差点改良による効果が薄い） 交通動線の再編が必要（複雑な駅前交差点の簡素化や周囲の道路ネットワークの円滑化等） | <p>銀座通りの歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の実現に向け、自転車通行空間の整備（ピクトグラムの設置）について検討します。</p> <p>また、現道における交差点改良などの道路整備だけでは交通負荷の軽減は困難であり、複雑な駅前交差点の簡素化を図るため、国道176号北東エリアの建築物の共同化や、駅前の交通広場などの施設の再配置も視野に入れた面的な整備による新たな交通動線の構築が必要です。そのために、再整備の可能性について、関係地権者などと協議を進めます。</p> |
| 【取組項目③】豊中亀岡線と東豊中線の交差点部分 | <ul style="list-style-type: none"> ● 交差点部分の車両や歩行者の安全性向上のため、府道豊中亀岡線における道路線形等の見直し、交差点部の歩道整備を大阪府と連携して検討。 ● 整備の実現には事業用地の取得が必要。 | <p>車両や歩行者の安全性向上を目的とした交差点改良事業の実現に向け、引き続き、大阪府と連携し、関係者との協議を進めます。</p> |
| 【取組項目④】地域の取組支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 豊中駅周辺まちづくりミーティングで駅前人工デッキの活用方法について意見交換を行い、豊中駅前ふれあいフェスタを開催。 | <p>豊中駅周辺まちづくりミーティングなどによるまちづくり活動の担い手の発掘とともに、とよなかグリーティングの実施等を通じて、駅前人工デッキの活用方法について引き続き検討します。</p> |

【フェーズ2】の取り組みイメージとスケジュール

- フェーズ1での取り組みを踏まえ、再整備構想における優先的な取組項目の実現に向け、令和7年度以降そのプロセスについて改めて検討を行います。
- 豊中亀岡線と東豊中線の交差点改良に向けて大阪府と連携して関係者との協議を進めます。
- また、銀座通り・一番街について、歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の実現に向けて自転車通行空間の整備について検討を進めながら、関係地権者などと協議を進め、複数の土地をまとめて一体的に建替える共同化や駅前の交通広場など施設の再配置を視野に入れた面的な整備による新たな交通動線の構築を検討し、銀座通り・一番街の道路空間の再編整備と空間活用に向けて取り組みます。
- ソフト面についてはまちづくり活動の担い手の発掘を行うとともに、駅前人工デッキの活用方法について引き続き検討します。

【フェーズ2】の検討イメージ



【フェーズ2】の想定スケジュール

| | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度以降 |
|------------|---|-------|-------|--------|--------------------|
| 優先的な取組事項①② | 《地域及び関係者協議》 《基本計画策定》 | | | | 面的整備 道路空間の再配分など |
| 優先的な取組事項③ | 《事業用地の確保》 | | | | 交差点改良 |
| 優先的な取組事項④ | 《担い手の発掘》 《パブリックスペースの創出》 《人工デッキの活用方法の検証》 | | | | |

関係者協議などの状況により、スケジュールは適宜変更します。